

作成日

令和6年4月8日

(短期留学) 留学報告書

標記について、下記のとおり報告します。

記

○基本情報

氏名		所属 (令和5年度)	文 学部 外国語文化 学科 2 年
学籍番号		留学期間	令和 6 年 2 月 ~ 令和 2 年 3 月
留学先 国・地域	マレーシア、クアラルンプール	留学先 (学校)	Asia Pacific University of Technology and Innovation

○報告内容

1. 留学前準備について (留学に参加した理由、留学の目的・目標 等) ※300字程度以上が目安
英語という公用語を自分の人生にどのように活かせるか確かめたかったから。将来どのように働きたいかと考えた時に英語を活用した仕事をしたいと思った。それは外資系企業などの英語でのコミュニケーション中心とした仕事なのか、それとも自分が学生の間に経験したような教育という分野で日本語話者に日本語を媒介言語として英語を教えるような仕事なのか、どちらが自分に合っているのか分からなかったため、実際に留学を経験して自分にはどちらが向いているのかを確かめたかったから。そして、英語のスピーキング力とリスニング力をどのように身に付けたいか分からなかったため、留学を通して英語を使わざる負えない環境で生活することでこの二つの能力を習得する方法を見つけられるのではと考えたから。目標は一日一回は必ず他国の学生に自分から話しかけるということ、恐れずに英語でコミュニケーションを積極的に取ることを目標にした。
2. 留学中に心がけたこと、努力したこと (授業、日常生活、留学中の活動 等) ※300字程度以上が目安
他国の学生に積極的に話しかけることを努力した。特にクラスメイトには話す内容が思い浮かばないから話せなかったということにならないように毎日前日に次の日に話す内容を考えて、そこから話を広げられるように努力した。授業では先生が言った言葉で使えそうだなと思ったフレーズはその都度メモを取るようになり、覚えて実際に会話の中で活用した。放課後は毎日その日にやった授業の内容を自分なりにノートにまとめて、何度も見返して習得できるように努力した。授業で分からなかったところはそのままにしないで必ず授業終わりに先生に聞くようにしていた。そして他国の文化や習慣、宗教に対して尊敬の気持ちを忘れないようにした。私が留学していた期間はちょうどラマダンにかぶっていたので、ムスリムのクラスメイトはファステイングをしていて授業中も辛そうだった。そこでムスリムについて色々調べ、少しでも気持ちを理解できるように努めた。私も教室の中では食べ物を食べたり水を飲んだりしないように心がけた。このように自分とは異なる文化や宗教、習慣に対する理解を深めた。日常生活では積極的にコミュニティに参加した。一か月という短い期間だったので、放課後や土日は友達を誘って観光したり、誘われたら積極的に参加したりして日本の学生との時間も大切にしながらマレーシアはどんな場所なのか、日本とどこが違うのかなどさまざまなことを発見する努力をした。
3. 留学の成果について (留学の目的・目標の達成具合、新たに発見したこと、感じたこと 等) ※300字程度以上が目安
留学を通して他国の学生との英語でのコミュニケーションは留学前に想像していたよりもすごく楽しいと感じた。今まで日本で行っていたように英語を語学として学ぶことももちろん楽しいと感じたが、これから先もっと英語でコミュニケーションを取りたいと感じるようになった。授業や友達とのコミュニケーションを通してスピーキングに大切なことは正しい文法で話すことよりも言いたい言葉や単語を他の言葉で言い換えることができるかどうかだと感じた。語彙力は人によってそれぞれだし、捉え方もひとそれぞれなので一つのパターンで伝えようとするのではなく、具体例や類義語などを使って説明することが大事だと思った。リスニングでは英語という同じ言語で会話をしていても人によってなまりがあるので、会話の内容をイメージしながら話したり、相手が言うことを予想しながら聞くということはコミュニケーションを取るうえですごく助けになるということに気づいた。目標としていた毎日他国の学生に話しかけることは達成できた。毎日意識していたためクラスメイトが自分の名前を覚えてくれた時は話しかけてよかったと思ったり、これからも連絡を取り続けたいと思える友達になれた。このようにとても貴重な出会いを経験できた。そして恐れずに英語でコミュニケーションを取るということもう一つの目標を達成するために、留学が始まって数日間にかく話しかけてみた。しかし文法間違っていると思われるかなとか、発音合っているかななど間違いを恐れてしまう場面があった。その時他国の学生は話すことが大好きだとえ間違っても構わず会話してくれることに気づき、それを見て私は間違いなんか恐れなくてまずはコミュニケーションを取ろうとする姿勢が大切だと気づいた。間違いを恐れないことも大切だと感じた。
4. 留学で学んだことを今後、どのように活かしたいか ※300字程度以上が目安
まずは留学での経験や努力を糧にこれからも英語の勉強を続けたい。あの時の自分ではできたんだからもっと頑張ろうと自分を鼓舞して努力し続けた。そして英語を話せるようになるための一番の近道はやはり英語に毎日触れることだと気づいたので日本でも積極的に英語を使うコミュニティに参加して英語を使う機会を減らさないようにしたい。具体的には沢山の外国の方と出会うことができる環境の場所に大学があるので積極的に外国の方に話しかけたいと思う。学校では留学生を見つけたら迷わず話しかけたい。積極的に動けるかどうか留学という経験を濃くできるかできないかということに繋がっていたので、日本にいたとしても英語を使うために積極的にコミュニケーションをとりたい。そしてコミュニケーションを取るうえで大切なことをこれからも意識したい。間違いを恐れずに話すことや様々な言い換えができる語彙力を身につけられるよう勉強に励みたい。加えて、異文化についても理解を深めたいと思う。私は留学中に宗教や異文化を身近に感じる事ができた結果、日本は宗教や文化について関心が薄い人が多いことに気づいた。会話が通じることよりも気持ちが通じ合えるほうが最終的にコミュニケーションには大切なことだと思い、これを実現するには相手や、相手の国をよく知ることだと思った。このように国際交流をするうえで他国についての理解を深めることは重要なことだと気づいた。

留学先 国・地域	マレーシア、クアラルンプール	留学先（学校）	Asia Pacific University of Technology and Innovation
-------------	----------------	---------	--

5. 留学中の画像（お気に入りのスナップ） ※Excelの「挿入」メニューから「画像」をクリックし、画像を選択・挿入してください。1枚以上



写真の説明①： APUの入り口。毎朝この光景をみて今日も充実した日になるよう頑張ろうという気持ちになっていた。



写真の説明②： プトラジャヤモスクを訪れた時。肌が見えないように女子は赤い服を着て、身近に文化を感じた瞬間だった。



写真の説明③： クラスのみんなとった写真。この日は大事なプレゼンテーションが終わりみんなで記念に写真を撮ろうとなって撮った。それぞれが真剣に発表者の話を聞いて、終わると大きな拍手を贈り、議論し合ったりとても良い環境であり貴重な体験だった。



写真の説明④： マレーシアで有名なポップコーンを売っている店員さんの写真。おススメを聞いたりして仲良くなり、友達を連れていったらお礼にと一つサービスしてくれた。

6. 外国語での記述欄（留学先国・地域の言語で、留学中の生活、成果等について、自由にご記入ください。） ※英語150 words以上が目安

My experience studying abroad was valuable. I could learn English in my class. I no longer have any fear of speaking English. Others that I went sightseeing and gained an understanding of different cultures. In addition, I made friends from other countries and it made me want to study English harder so that I could talk to them more. Speaking of classes, I could studied how to learn listening skills, speaking skills, writing skills and, reading skills. I learned them not only from my teachers but also speaking English with my friends. At first, it was difficult for me to understand English. In the end, I was able to understand better than on the first day. I will continue to study so that I don't forget these skills.

7. その他（自由記述）任意で記述

留学を通して英語について様々なことを学ぶことができたし、気づきがあったことはとても貴重な経験だった。それと同時に人の温かさをすごく感じる事ができた。エジプト出身の友達は私が発表で緊張していると、「だいじょうぶだよ、恐れないで」と励ましてくれたり、ジブチの友達は日本語についてすごく興味を持ってくれたりして、まだ出会って間もないのにこんなにも優しくしてもらえて人として学ぶ部分があった。同じ國學院の学生の子たちも私が喉を痛めた時みんな心配してくれて、薬をくれたりもした。この出来事から私も何か役に立つことをしてあげたいと思った。日本で生活して忘れかけていた多くのこと、人として大切なさまざまなことに改めて気づけたことも留学についてよかったと思える理由のの一つになった。